



黒須大一郎 議員
(隼人)

問 結婚・出産・子育てを
かなえるために

妊産婦にとって優しいとは言えない市の交通環境を補う施策として、マタニティタクシー利用料金補助事業はどうか。さらに駅周辺の市有地などを利用して、国とともに宅配ボックス設置補助事業を進め、横並びではない、優しく便利なまちづくりを進めては。

答 事業実施の可能性について探っていく

妊娠期からの子育て支援策については、市の子ども・子育て支援事業計画や健康増進計画にもとづき、順次取り組む。

マタニティタクシー券および宅配ボックス設置補助事業については、今後、調査・研究を進めていく。

問 市発展の要、篠津北東部に鋭意努力して

篠津北東部の土地利用については、地域と市が積極的な協働作業が必要と17年8月のワークショップで報告している。さらに25年3月議会で、関係権利者の意見に耳を傾け、鋭意努力すると答弁があった。これまでの努力とは何か。今後、どう協働作業するのか。

答 事業進展の可能性を検討していく

市では、埼玉県と意見交換を行いながら、本市における土地利用の可能性を図ってきたところである。今後は、土地利用関係法令、地権者の意向状況、市全体の土地利用のバランスなどを考えながら、事業進展の可能性を検討していく。



白岡市

議員研修報告

議会で
「ふれあいの森公園
運動広場」を視察



ふれあいの森公園を視察



3月定例会最終日、議会で市役所の北側にあるふれあいの森公園運動広場を視察しました。

この運動広場は、(仮称)白岡市生涯学習施設を千駄野運動広場に建設することから、千駄野運動広場のグラウンド機能をふれあいの森公園内の多目的広場に移したものです。

工期は28年5月6日から同9月16日までで、面積は2,542㎡です。

この運動広場を整備したことにより、住民の皆さまに以前と変わりなく利用していただけることが期待されます。

